



歯 車

笑顔いっぱいのまちをめざして

《討議資料》

平成23年8月10日

鈴木としお後援会 No 5

〒018-0436

事務所：にかほ市樋目野字樋口21

TEL fax : 37-2307

Eメール toshio@ninus.ocn.ne.jp

臨時議会・災害復旧費等に5,800万円

六月二十三、二十四日の大雨により、河川始め道路、水田、観光施設に大きな被害が発生し、その復旧に要する補正予算が七月八日の臨時議会に提案され、原案通りに議決しました。

☆にかほ市の今回の主な対応（当局からの説明）

二十三日 八時七分 にかほ市に大雨警報

二十四日 二時四十五分 にかほ市に洪水警報

五時三十三分 消防団全分団に警戒・巡視指示（消防団団長）

五時五十分 にかほ市災害対策本部設置

九時 白雪川中野観測所で氾濫注意水位上回る二、五六m観測

四時五十八分 にかほ市の大雨警報解除

以後、被害調査に入る。

防災気象観測システムによると、二十三～四日（一時から十五時）の総雨量が釜ヶ台で320mm、横岡で302mmであった。この大雨で、河川関係では冬師の前見川、両前寺の阿部堂川、白雪川などの堤防が一部決壊した。

また、農業関係では各地で水田に土砂の流入、畦畔の法面崩落、更には巾山スキー場の法面が崩落するなど、観光施設にも被害が発生した。

★今回の大雨の復旧対策に約五、八〇〇万円の予算措置

公共土木施設災害復旧費	五、一〇〇万円
農林業用施設災害復旧費	七一九万円

にかほ市では今回の大雨を一定の基準に基づき「異常気象」と認定し、農地や農業用施設の復旧に要する工事費に対し、左記のような助成を行うこととし、今回の補正額で賄えない場合は再度補正予算の措置をとることにした。

復旧に要する工事費が十万円以上である場合

この事業費の四十％（ただし、上限は二十万円）

大雨に被害を受けられました皆様には、心からお見舞い申し上げます。

共同受注事業部を視察しました。

現在、当市には二百近い企業が存立しているといふ。その中でも存在が大きいのは勿論TDKである。

このTDK発祥の地である当市は、TDKを中心に多くの電子部門やその製造で産業の振興がはかられてきました。

そして中から得意な技術を持つ企業が、ものづくりネットワークを立ち上げました。それが“にかほシステムズ”です。

この事業部を過日訪問させて頂き、これまでの経緯、今後の方向など同事業部長の佐々木氏と話をさせて頂きました。農工一体の調和のとれたにかほ市を目指すには、この産業の振興が極めて大事です。今後の活動に、この視察を活かして参りたいと思います。佐々木様、ご多用な中、有難うございました。

※議会議録は、「議会だより」と「ホームページ」に掲載されなす。但し、会議閉会后3ヶ月ほどあとになっていきます。

福島県の子どもを受入れ

福島第一原発事故の影響で外での遊びが制限されている子どもたち。二本松市からの子どもたち十三人が、当市を訪れたようだ。未だに収束の目処の立たない原発は、子どもたちに大きな影を落としている。一刻も早い原発の収束を願いながら、せめて当市においては存分に鋭気を養ってほしいものです。